



温室効果ガス削減の 施策に研究を 渡邊 隆（久比岐野）



問／国が2050年までに脱炭素社会の実現を宣言したことで、県内の多くの自治体で脱炭素に向けた施策が打ち出されている。当市では、太陽光発電の導入を進めるとしており、冬の日照時間の短さが課題と考えるが、実績や検証はどうか。地学的な見地から、産学官連携による技術開発に取り組み考えはないか。

答／公共施設13施設に設置した太陽光発電の令和3年度発電実績は、5万8,683kwで、一般家庭の年間電気使用量の13世帯分であった。雪国での効率的な設置手法やノウハウを民間事業者と共有するとともに、研究機関やパネル製造メーカーとの連携についても検討していく。

センター病院敷地内に透析患者の滞在施設を

問／上越地域医療センター病院基本計画を見直し、感染症対策の観点から個室の増設も検討していると聞く。病床が増えれば建築費の増も予測されるが、経営計画に影響はないか。また、見直しに当たり、敷地内に透析患者が利用できるショートステイ施設を併設する考えはないか。

答／計画見直しに当たっては、患者数や医療ニーズの変化を施設規模や設備に反映し、検討していく。透析患者専用のショートステイ施設の整備は考えていないが、透析患者の移動手段確保は重要な課題と捉え、対応策を検討していく。



ふるさと納税制度の 長期的な目標と方法は 鈴木 めぐみ（政新クラブ）



問／長期的な目標額や実行するための方法をどのように考えているか。

答／寄付金額について、令和12年度には7億円を見込んでいる。寄附者への返礼品の充実による来訪機会の創出やシティプロモーションを推進する体制を整えていく。

ランドセル症候群の現状と防止策

問／ランドセル症候群について、当市の現状と防止に向けた市の考えを聞きたい。

答／これまで学校や保護者から相談や意見等は聞いていない。相談があった場合には、対応や解決策について、医療機関とも連携を図りながら個別に対応していく。

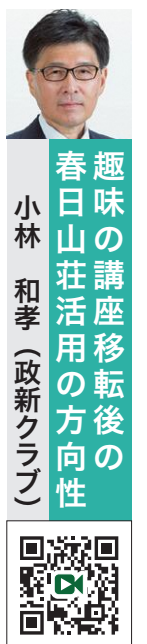
空き家解消に向けた対策は

問／適切に管理されていない空き家等の解消に向け、どのような政策方針で取り組むのか。

答／上越市空き家等の適正管理及び活用促進に関する条例に基づき安全管理等を行うことで、空き家等の解消に一定の成果を得た。

問／専門家の知見を活用すべく、関係団体と協定を締結してはどうか。

答／空き家問題解決に向け、関係機関と連携して体制を構築しているほか、関係団体との協定締結も視野に入れながら取り組んでいく。



趣味の講座移転後の 春日山荘活用の方向性 小林 和孝（政新クラブ）



問／春日山荘を大規模改修や建替えするなどして、春日山観光あるいは地域活動活性化の拠点施設として活用する考えはないか。

答／施設の所有者である上越市社会福祉協議会は、現時点で活用方針を決めていない。建物の老朽化や敷地面積などから、改修等により観光拠点施設や地域活性化の場として活用することは難しいと考えるが、敷地は観光拠点施設が近くに建設された場合に、スタッフ駐車場や民間の飲食店などとして活用することが考えられる。



長年親しまれてきた春日山荘

地域独自の予算と地域活動支援事業

問／令和5年度地域独自の予算事業の件数・金額は、これまでの地域活動支援事業と比べて少なかったが、市長はどう考えるか。

答／件数や予算額に違いがあることは、多様な地域の状況や個性を尊重する地域自治の基本的な考え方に沿うものと考ええる。また、必要とされる課題解決や活力向上に向けて、地域団体からの提案に基づき、必要な予算を計上したものであり、件数や金額の多寡で評価するのではなく、地域活動支援事業と単純に比較することもできないと考える。